

## 令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	木曾義仲・巴ら勇士顕彰全国大会開催事業
事業主体 (連絡先)	義仲・巴ら勇士讃える会 TEL: 0264-26-2301
事業区分	(3)教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,996,464 円 (うち支援金: 1,285,000 円)

### 事業内容

武将木曾義仲の歴史的文化を伝承するとともに、旗挙げの地である木曾町の知名度を上げ観光客の増加を図り、義仲・巴を主役としたNHK大河ドラマ化への機運を高めるため、9月25、26日の2日間、義仲・巴ら勇士讃える会全国連携「木曾大会」を開催した。

#### ○1 日目

- ①記念式典 (町内外 約 150 名参加)  
歓迎アトラクション、義仲館新作映像上映、  
記念講演会

- ②交流会 (会員他 60 名参加)

#### ○2 日目

- ③木曾義仲ゆかりの地めぐり (町内外 37 名参加)

### 事業効果

- ①木曾町で開催したことで、地元の武将である木曾義仲について地元住民に再認識してもらうことができた。  
また、大河ドラマの脚本も手がけた田淵久美子氏による講演を受け、義仲・巴を主人公とした大河ドラマ化に向け会全体の機運を高めることができた。
- ②交流会での郷土食の提供、義仲ゆかりの地めぐりの実施により、食と観光の観点から参加者へ木曾町をPRすることができた。
- ③義仲館の来館者数が開催前の9月(801名)と比較して10月では1,326名と来館者が1.65倍に増加し、観光客の増加に繋げることができた。

### 今後の取り組み

- ・今後も各地で全国大会を開催し、会員同士の情報共有を図り、連携して顕彰活動を行うことで木曾義仲・巴御前の認知度を高める。また、本事業を義仲・巴を主人公とした大河ドラマ化の陳情活動の機運とし、引き続きNHKへの陳情活動を実施する。



【歓迎アトラクションの様子】

### 【目標・ねらい】

- ①歴史的文化の伝承
- ②木曾町のPR
- ③観光客の増加

### ※自己評価【A】

#### 【理由】

新型コロナウイルスの影響により、参加者が当初の見込みより減少したものの、食と観光の観点から木曾町をPRすることができ、義仲館の来館者数が前月より1.65倍に増加した。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある